

令和4年度 地区懇談会
(幌別西地区、青葉地区) 議事録 (概要)

令和4年10月4日(火) 18:00~19:20

市民会館 出席者32名

6 登別市・白老町 令和12年度以降のごみ処理施設について

質問：

- ・今のクリンクルセンターは7m程度の津波は対応可の一方で、市役所本庁舎は移転することを決めた。整合性をどう取ろうとしているのか。基本的な考え方を知りたい。
- ・災害が発生すると、ごみ処理に何日も何年も要する。そのときにクリンクルセンターが使えなかったらどうなるのか。
- ・プラスチックごみの分別について、このごみがプラスチックごみかどうか判断が付かない市民もいるため、周知を徹底する時間も考えなくてはならないと思う。
- ・町内会では年に何回か廃品回収を行っているが、紙を燃やさないで回収するんだということを徹底してほしい。
- ・テレビのニュースで、施設や病院からたくさん排出される使用済み紙おむつに間伐材を混ぜ特殊処理をしてペレットをつくり、それをボイラーで燃やすという利活用を見た。その情報は知っているか。

回答：市民生活部

- ・災害時のごみ処理について、災害でごみ処理施設をすぐに稼働することができない場合も考えられるが、その場合は北海道に委託してごみを処理する流れになる。
- ・現時点では、北海道との連携によりごみ処理が可能であるということで、再延命化という選択肢を残している。
- ・プラスチックの分別については、国を挙げてプラスチックの分別に取り組む形になると思うので、市民の皆さんに根気強く周知をすることが必要だと考えている。
- ・廃品回収についても、町内会が今取り組んでいるものを強化したい。
- ・紙おむつの件は把握している。この件に関わらず、現在、技術革新がたくさん行われており、各企業も改革を進めている。市でも取り入れられるものは取り入れていきたいと考えている。

質問：

- ・現在のごみ処理施設は、12mの巨大な津波に耐えられる強靱性があるのか。また、強靱性を計算し十分検討したのか。

回答：市民生活部

- ・建物の強靱性について、12mの巨大な津波が発生した場合に建物が耐えられるかの計算はしていない。

- ・ただ、津波でゴミ処理施設が動かなくなった場合、広域的に他の市町村や北海道と連携し、ゴミを処理してもらうことにならざるを得ない。
- ・再延命化を断念するかどうかという検討をしたときに、市としては、ゴミ処理がクリンクルセンターが生き残らないと全く処理できないということではなく、広域的な連携の中で何とかお願いしながらやっという選択肢もあるので、再延命化と新設の2案を検討している。

意見：

- ・市役所現庁舎の跡地の利活用については、若者の意見を取り入れてほしい。時間を掛けてじっくり良いものをつくっていただきたい。

7 地域の共通課題についての懇談：大英寺裏避難場所（私有地）の閉止について

質問：

- ・今まで大英寺裏の私有地を避難場所として訓練を行ってきたが、土地所有者の方から、牧草地にするため立ち入りを禁止された。また、その避難場所は今回の浸水区域の変更で、3分の1ぐらいは20～30cmの浸水区域になってしまった。
- ・避難場所については、人命に関わるものであり、市ではどのように考えているか。

回答：総務部

- ・大英寺裏避難場所に近い代替避難場所については、次の場所を考えている。
 - 来馬墓地 約5,000㎡ 収容人数 約2,000人
 - 柏木町2丁目付近 約400㎡ 収容人数 約200人
 - 柏葉団地付近 約3,000㎡ 収容人数 約1,500人
- ・幌別西地区についてはほとんどの地域が浸水地域になっており、十分な避難場所とは考えていないが、まずはこのような場所に一時避難してもらうことを考えている。
- ・元気な方、歩ける方については、柏葉団地の奥や柏木ジュニアーズ石山球場付近など、少し遠くなるが、そこまで避難してもらうことも考えている。

意見：

- ・高齢者が多いため、冬の夜に津波が発生した場合、避難するまでに時間が掛かり、避難中に津波に巻き込まれてしまう。
- ・避難するにしても、冬場の道路の状況によっては歩いて行けないことも考えられる。避難は、自然が相手のことであり、自分のことは自分でまず最初にやらなきゃならない。

回答：市長

- ・避難経路について、避難場所に関わらず、浸水区域以外の場所に逃げることも考えてほしい。

- ・現在、海側に住む方がJRの線路を渡って避難するため、跨線橋の建設について最優先で要望している。
- ・登別市は防災対策を特に進める津波避難対策特別強化地域に指定されたため、3分の2の補助を国から受けられる。これは令和5年度に実施できるものに限られているため、今月中に申請しなければいけない。
- ・現在の避難場所では少ない、または狭いのではないかとということであれば、町内会や地域の方から意見をいただき、まずは北海道に相談し、補助金を活用することも可能かと考えている。

意見：

- ・大津波が発生した場合は、陸上自衛隊幌別駐屯地の中を通っても良いということで、今月14日に実際の訓練をすることになっている。訓練経路を確認したところ、駐屯地の中を通るより登別室蘭インターチェンジに入る方が近くなる人もいると思う。
- ・駐屯地を通るのであれば、緊急時は南門を使用できないか検討してほしい。

回答：市長

- ・鶯別地区の避難経路でも企業の所有地を横断するような話が出ている。その企業から緊急時に横断できるようプラスチックの門を造るような話をいただいた。
- ・補助金の話があったと思うが、企業が負担する分についても何らかの補助ができないか検討していきたいと考えている。
- ・陸上自衛隊幌別駐屯地についても、緊急時に南側から入ることはできないか、また、補助金を活用することができないか検討していきたいと考えている。
- ・補助金の活用を検討するため、今月14日の訓練時に、仮に門を設置する場合、どこの場所が良いか設定してほしい。その後、申請を行えるかどうかを検討したい。

7 地域の共通課題についての懇談：冬季・夜間避難時の通路確保について

質問：

- ・冬季の避難について、電柱や木が倒れ、通行できないことも考えられる。
- ・積雪で避難場所に入ることができないということだけは無いようにしてほしい。

回答：総務部

- ・除雪は、日常的に通る道路の通行を確保するために行っており、一部冬季通行止めの道路もある。幌別西地区の避難場所の一つである望洋公園までの道路は、浸水区域以外の登坂路から冬季の車両通行止め区間とされており、除雪されていない場所になっている。
- ・冬季は足場が悪いことも考えられるため、避難場所にこだわらず、浸水区域以外の所を防災マップなどで確認し、まずは歩きやすい所、そして浸水区域外に避難するなどの工夫が必要な場合がある。
- ・除雪については、市としてできるだけ対処していきたいと考えている。

- ・ただ、避難経路全てを常に雪がない状態にすることは難しいため、津波避難対策特別強化地域となる北海道、東北における冬季の避難については、特別に力を入れるということで国から説明を受けている。その辺も北海道開発局、北海道などと協議を進めたいと思っている。

質問：

- ・市役所新庁舎の件で、以前から新庁舎に防災資機材の備品庫や倉庫の設置をどのようにするのか質問している。外部に設けるなどの話があるが、先ほどの国の補助を活用することができるのであれば、前向きに検討してほしい。
- ・市役所新庁舎に隣接する広場について、北海道の冬季4カ月間は使用できなくなると思うが、どのような対応をするのか。
- ・津波発生時に高速道路などへの避難について、北海道などと連携は取れているか。
- ・パブリックコメントについて、意見が出されることが少ないため、パブリックコメントで決定された後に説明会などを開いた方が良いのではないか。

回答：総務部

- ・高速道路の関係について、以前よりNEXCO東日本と防災の関係で、現在建設中の消防本庁舎の裏から道路を造って入ることができないか、市長自ら話をしている。
- ・消防本庁舎のところは分岐点になっているため難しいとの話があり、一度降りて緑陽中学校の方から進み亀田霊園付近から入ることで、了承まではいかないが可能であると言っていた。
- ・市役所新庁舎については、山側を通り、富浦パーキングや登別東インターチェンジのところが可能だろうと考えている。
- ・市役所新庁舎隣接の大きな広場の冬季の利用については、市も単なる雪捨て場として使用するのではなく、子どもたちがそり滑りなどに活用できないか、今後も検討していきたいと考えている。
- ・パブリックコメントについて、意見が少ないことは承知しているが、全市民に正直な意見を出してもらう機会として必要なものだと感じている。パブリックコメントを実施したうえで、説明会を開催するのは可能だろうと考えているので検討したい。極力、市民の皆さんに逐一説明をしていきたい。

質問：

- ・緑陽中学校のところに降りるとのことだったが、そこは浸水地域ではないのか。

回答：市長

- ・その区域には12mの津波が来ないと想定している。

意見：

- ・以前、パブリックコメントに意見を出したことがある。そのパブリックコメントでは意見が全部で3件という結果だった。結果、反対意見が無かったため賛成ということになったが、本来の形ではないと思う。
- ・パブリックコメントとはどのような要素のものなのか、十分に理解してもらい、その中で実施してもらえればと思う。

質問：

- ・現在の市役所庁舎の入口は、正面と裏口の2カ所があり良いスペースだと思っていたが、新庁舎も裏口からも入れるようになっているのか。
- ・新庁舎は入口から入ってすぐに議場があるが、執務室があることが理想ではないのか。
- ・災害時に避難所として活用する場合、入口付近に広いスペースがある方が良いのは理解しているが、それならば裏口から入れるよう、両方から使えるようなシステムづくりをすることが望ましい姿ではないのか。

回答：市長

- ・職員が避難時に使う出入口や、雨をしのぐことができる屋根付きの出入口などを設置する予定。
- ・現在検討中のため、今後市民の皆さんがどのように出入口を使うことが可能か検討していきたい。

その他

意見：

- ・マイナンバーカードを活用する場が少ないと感じる。
- ・市の方でもマイナンバーカードを活用するよう、いろいろなサービスに使ってほしい。